ライブ毎刊びゃっきープレス

byacky press

2006
8 月 11/13 日号
ライブ当日発行

無料配布
↑あたりまえ

発　　行　(謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp
配　　布　びゃっきーご本人かライブハウスの人

RAMBLING Satellite
役にたたない偏重サイト
情報がグレードダウン!!
アクセス不要
http://www.satram.jp/
info@satram.jp

死体でナイト

びゃっきーホラーショウ

会場の片隅に作られた小さなサブステージ。わかりにくいが会場はゴザ敷き。写真は主催の渡辺みやこさんがお客さんをビビらせているところ。

びゃっきー超気合納涼イベント参加

渡辺みやこプレゼンツ「死体ｄｅナイト」が７月２２日（土）に赤坂にあるライブハウスＬ＠ＮＡｋａｓａｋａにて開催された。びゃっきーも居酒屋で空ぶったライブラジオを「びゃっきーホラーショウ」と改名し、強気で再演。そのほか、新曲や怪談を披露したり、熱い納涼になった。

「居酒屋じゃなけりゃ、絶対イケる」

ライブ前、根拠なくそう信じ、居酒屋で空振りに終わったラジオ形式ライブの準備を重ねるびゃっきー。

そして、みやこさんからの事前連絡にて、各バンド怪談コーナーがあるということを聞かされ、さらに準備。びゃっきーは霊感ゼロで、知っている怪談と言えば、「雪山で遭難した人が、寝ないように四人が四角く座って順番に起こす」というクソみたいなあの怪談のみ。ネットで調べようかとも思ったが、負けず嫌いのびゃっきーは、お客さんに「それ知ってる」と言われるのが耐えられず、だったら自分で作ってやるわい、と無理やりに作って、会社の行き帰りにブツクサと練習。

そして慣れた曲をやればいいのに、新曲まで用意する気合いの入れようで、ライブに臨んだ。

あ、そうそう、スクリームみたいな夜光塗料と目にクマを書くフェイスペイントも用意したのだった。

Mixy の師匠とワシのポーズをとるびゃっきー。できてない。ライブ後会場にて。

そしてイベント当日。会場へ着くと不可思議な光景。普段は普通のライブハウスなのに、その日は客席が一面ゴザ。そして客席隅にサブステージがあり、行灯のようなものがある。そしてその隣になぜかカキ氷の機械。もはや何が始まるのかサッパリわからん状況であった。

イベントが始まって、みやこさんの司会に続いて、いきなりびゃっきーの怪談がサブステージで行われる進行。用意してきた怪談を披露した。果たして語り終えた後、「全然恐くない」とブーイングの嵐。でも誰も知らないんだからそれでいいんだと、自分を励ましながらサブステージを去る。

ライブ本番は満を持して結構自信のあったラジオライブを決行。そこそこ楽しんでいただけたように思う。

逆に全く自信のなかった新曲は、ヤッパリ途中でしくじった。が、驚いたことにお客さんの応援によって助けられ、なんとか終了。後で聞くと何人かの人から、好評価で、なんだかよくわからない。

そういや、メイクはパンダとか言われた挙句、夜光塗料は汗で流れ、ほとんどアホを露呈しただけで終わった。

全体としては他の出演者が全員とてもよく、主催者のみやこさんは圧巻。とてもいいイベントになった。参加できたことをとても光栄に思う。

（びゃっきー）